

令和5年度第3回 子ども・子育て会議

書面開催委員意見集約

議題1 「北本市子ども・子育て支援ニーズ調査（就学前こども用）への意見

該当設問	委員意見	事務局回答
問1	「回答学校区」を小学校区にしたのは良い。 回答者が「就学前」と「小学生」を対象としているのに中学校区で分けをするのは、対象を考慮しているアンケートとは言えないと思う。	-
問3	「お子さん」の説明が付してあるのですが、これは一般の人にはわからないのではないかと思います。市で把握したい子どもについてダイレクトに記した方がよい気がします。いかがでしょうか。	ご指摘のとおり説明が付されていると混乱を招く恐れがあるため、特に説明を付さないほうがスムーズに純粋なお子さんの人数を回答していただけたと考えたため説明を省略します。
問7	介護について、「家族等」とは同居家族を指すのか？同居別居関係なく親族等を指すのか？	同居別居関係なく親族等を指します。設問時にその旨の標記を追加します。
問11-1	選択肢に「児童発達支援センター」を入れた方がよい。	児童発達支援センターに確認したところ、相談が入っている実績もあることから、10に「児童発達支援センター」を追加し以下繰り下げます。
	6. 幼稚園・保育所・認定こども園 でしょうか？その他で回答となりますでしょうか。答える保護者からすると区別なく並んでいるほうがよいかなと思いました。	幼稚園・保育所・認定こども園の選択肢に修正します。
問14	就労の希望の選択肢として、働きたくても働けない子育て以外の事情がある方（病気や介護等）はその問題が解決したら就労する場合等の選択肢があっても良いものではないか？ 就労予定なし＝子育て・家事に専念は押しつけではないか？	子育て以外の事情をお持ちの方も回答いただきやすいように選択肢3において文言を付け加えました。 また、就労予定のない方＝子育て・家事のみに専念されるとは考えておらず、選択肢でも「子育てや家事など」と標記し幅を持たせておりますので、現行のままとさせていただきます。
問15・16・20・21・22	・子育て支援サービスとして、幼稚園や保育所が記されることは絶対に避けるべきだと考えます。誤った表現になってしまうと考えます。サービスではなく、幼稚園や保育所等は我が国においては就学前教育の場であるためです。預けて教育をしてもらうという考え方もやはり違います。釈迦に説法で申し訳ございません。保育所は、位置付けは福祉施設ですが、公的な幼児期の教育を担う場とされています。幼稚園・保育所・認定こども園における就学前教育は、小学校以降の教育との連続性の中で同じ一貫した教育の柱が示されてもいます。 ・サービスの部分は、幼稚園における預かり保育や保育所における延長保育が該当します。（23に、一時的なという表現で預かり保育について触れられています。同様に考えると、毎日の、日常的、定期的ということでしょうか。）また、子育て相談については、サービスの部分もあるでしょうし、教育に必要なものとして実施されるものともなっていると考えます。 ・いずれにせよ、幼稚園や保育所の全てが子育て支援サービスであると表現することは危険だと思っています。	サービスと標記した箇所を「教育・保育や子育て支援サービス」に修正します。

	・また、保護者が子どもの教育の場という視点ではなく、預かりの場、サービスと認識し、サービスの消費者となることは避けなくてはなりません。むしろ、それらの場に参画して子どもを育てる当事者になれるような体制を、社会がつくっていかなくてはならないためです。 ・子育て支援サービスという言葉におけるサービスという言葉をとって子育て支援として表現することも、やはり幼稚園は、今は任務として子育て支援を行うことになっていますが幼稚園の機能の全てが子育て支援ではありませんし、保育所の任務としても、やはり乳幼児の教育と子育て支援の場であるので、正確ではないです。 ・以上の理由から15・16・20・21・22については書き振りに修正が必要だと考えます。ただし、幼稚園や保育所等の教育部分についても、子育て支援サービスと位置付けることがどこかで言われているのだとすれば、訂正したいと思います。この件に関する意見は取り下げます。	
問15 - 1	選択肢6と8～10は、北本市内で行われているサービスなのか否かの情報を載せる必要があるのではないかと思います。 【 】内を北本市内の施設として載せているのであれば、6と8～10は市内では利用できない施設は無い等の情報	設問に「市内・市外の施設に関わらず」と記載します。
問16	問15 - 1同様、選択肢6と8～10は、北本市内で行われているサービスなのか否かの情報を載せる必要があるのではないかと思います。	設問に「市内・市外の施設に関わらず」と記載します。
問16-2	「特に幼稚園（幼稚園の預かり保育をあわせて利用する場合を含む）の利用を強く希望しますか。」ではなく、「3歳以降幼稚園入園選択をし転園（保育施設の利用終了等）の希望がありますか」などの設問のしかたの方が、私が会議で意見を出させていただいた内容に合った調査になるかと思います。	量の見込み7ページに示されている追加の問の例により作成している設問となります。委員のおっしゃっている会議の発言は、承知していますが、本設問は、幼児期の学校教育を強く希望するかを問う設問なので、現行のとおりとさせていただきます。
問20	この設問は、無作為抽出された母体により結果が左右される気がします。 幼稚園等利用者＞保育施設等利用者 の場合	無作為抽出とは、そのような性質を持ったものなので、御理解ください。
問22 - 2	選択肢に 1. できれば病児・病後児保育施設等を利用したい 2. できれば利用したいができない →問22 - 4へ 3. 利用したいとは思わない →問22 - 4へ 「2. できれば利用したいができない」を加えた方がよい。利用したくても利用できない現状があります。そのニーズを調査項目に入れ、市は知る必要があると思います。	本設問は、利用したい人がどのような形態のサービスを希望しているか、利用したいとは思わない人がどんな理由でそう思うのかを問うもので、ご指摘の「利用したいが利用できない人」は、アンケートではなく、実績値で把握できるものになると考えますので、選択肢には追加しません。
問22 - 3	選択肢1に（例：幼稚園）とありますが、市内幼稚園で、病児病後児サービスを実施している施設はあるのでしょうか？無いのなら、例に「幼稚園」を入れるのは適当でないと思います。	ご指摘のとおり市内の幼稚園で事業を行っている幼稚園はありませんので、例から省かせていただきます。
問23	選択肢2、4、5を問う理由は何か？ 市内で実施していないサービスについては今後検討する等の説明がないと意味意図がわからない調査になるのではないかと思います。	2、4に関しては、市内でも実施のある事業になることに加えて、市外の事業利用も含めて関連事業のニーズを問うものなので、御理解ください。

問25	選択肢に「3. 利用したいが、利用方法がわからない」の設問が必要と思う。特に選択肢1のイヤウは突然来る理由のため前もって準備をすることが難しい。サポートを得られる家庭なら対処のしようがあるだろうが、シングル家庭で親等のサポートも得られない家庭がこのような調査で声を上げられるような調査にしてほしい。	問10の選択肢17において声を確認したいと考えます。現行のまま調査を行わせていただきます。
問28	問28から母親・父親それぞれの回答を求める回答スタイルで、 ・問28-1は、「該当しない」を選択肢に入れないと母親は当てはまるが、父親は当てはまらない場合に選択する項目がないことになる。 ・問28-3は、「4. 該当しない」もしくは「育児休暇を取得しなかった」の選択肢が必要かと思えます。	標記が分かりづらかったため、該当者のみ回答するような誘導文を付け加えます。
問29	【お住まいの地域における子育ての環境や支援への満足度について】の評価方法が少し曖昧な気がします。何をベースにしたらよいかわかりづらくなりました。 例えば 【環境や支援が非常に充実していると感じている】4点 【環境や支援が充実していると感じている】3点 【環境or支援充実していると感じている】2点 【両方とも充実していない】1点 上記みたいな質問のほう迷わず、評価・回答がしやすいと感じました。（小学生問14も同様の意見です）	ご指摘を踏まえ、回答項目を修正します。
設問外	内容は良いと思いますが。質問のボリュームが多くアンケートの途中から集中力が欠けてくるような印象を受けました。 アンケート内容をもっと絞り込み、重要な質問に焦点を当て、回答者の負担を軽減することで正しい回答を引き出せると感じました。	-